

黒部市 発表  
令和6年2月21日（水）

【照会先】

黒部市市民環境課

市民環境課課長 吉田 雅之

市民環境課班長 山口 真二

電話 0765(54)2501

報道関係者 各位

## 黒部市「ゼロカーボンシティ」宣言

- 主 旨** 市長が自ら、「本市は2050年にCO2（二酸化炭素）を実質排出ゼロにすることを目指す都市」として公に宣言することにより、市民、事業者、行政が一体となって全市的な脱炭素の取組を展開し、ゼロカーボンを推進していくことを広く表明するものです。
- 宣言日時** 令和6年2月21日（水）市長定例記者会見時
- 宣 言 文** 別紙のとおり  
※「実質排出量ゼロ」とは？  
二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。（環境省 HP より引用）
- 県内の状況** 県及び県内11市町において「宣言」されています。  
（※未実施の市町村：黒部市、砺波市、舟橋村、入善町）

# 黒部市

## 『ゼロカーボンシティ』宣言

★★★★★ 2050年 CO2(二酸化炭素)実質排出ゼロを目指します！ ★★★★★

近年の猛暑、とりわけ昨年、世界を襲った史上まれにみる気温上昇にあつては、国連の事務総長が、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した。」と発言し、各国政府や企業等に対し更なる地球温暖化防止対策への対応を求めました。

昨今の異常気象や、それに伴う大規模災害を見るにつけ、まさに私たちは地球温暖化の脅威を身近に感じざるを得ません。

地球温暖化防止対策として、2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を産業革命以前と比較して2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する。」との目標が設定されました。さらに2018年に公表された「IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)」の特別報告書では、「世界の平均気温の上昇を産業革命から1.5℃に抑えるためには、2050年度までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

これを受け、日本政府は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けた各種施策を強力に推進していく方針を掲げ、日本社会全体としてこの目標を達成するための取組が求められています。

このような国内外の動向を受け、現在本市では市民、事業者、行政が一体となって全市的な脱炭素の取組を展開しゼロカーボンを進めるべく、「黒部市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の策定を進めております。地球温暖化は人類の存続にかかわる課題であり、先人から引き継いできた、このかけがえのないふるさとを守り、持続可能な社会として未来へと引き継いでいくため、2050年までにCO2(二酸化炭素)を実質排出ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和6年2月21日 黒部市長 武隈 義一

